

平成 29 年度 財団せせらぎ 助成金使用報告書

所属	世田谷こどもクリニック	職名	言語聴覚士	助成金額	20 万円															
氏名	石上 志保	印 メール アドレス	st.shiho.ishigami@gmail.com																	
研究課題（申請書に記入した内容を記入すること。）																				
オノマトペカードを使った言語・コミュニケーション発達支援																				
助成金使用実績の概要（日本語で記入すること。図・グラフ等の記載は必須ではない。）																				
<p><実施内容></p> <p>オノマトペ(擬音語・擬態語)は、音の繰り返しが多いため聴取・模倣しやすく、また、意味を直接的に表現するものが多いことから、言語発達を促す上で効果的に作用することが知られている。また、日本語は他言語に比べてオノマトペの数が多く、様子や情感、音を豊かに表現するものとして、その語彙的価値も高く評価されている。</p> <p>今回は、発語を促し、言語・コミュニケーションの力を育てることを目的に、オノマトペカードを作成した。カードには、日本語の音節 104 音から始まるオノマトペを絵で表現し、上部に音節を大きく印字することで、意味理解を促すと同時に、音節への意識を促す工夫を行なった。また、さまざまな発達段階の子どもへの使用を想定し、使い方シートと、オノマトペの効用について説明する小冊子を制作し、同時に配布した。なお、カードは、印刷物としてだけでなくデータでも配信し、家庭で印刷できるようにした。</p> <p>カードおよび小冊子は、ダウン症児の親の会での講演時、言語療育グループ等で配布した。カードを使用した幼児の保護者からは、「自宅でカードを見せて遊ぶようになってから、ことばの真似をするようになった」「日常的にオノマトペを表出するようになった」等の感想が届いている。</p> <p><活動実績></p> <p>2018 年 2 月 内容検討、編集プロダクションと打ち合わせ開始 同 年 3 月～7 月 オノマトペカード等制作 同 年 8 月～ 言語グループ、講演会等での配布開始</p> <p><制作物></p> <p>① オノマトペカード ② オノマトペカードの使い方シート ③ 小冊子「ことばを育てるオノマトペ」</p> <p><支出></p> <p style="text-align: right;">(単位：円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種目</th> <th>決算額</th> <th>説明 (内訳・算出根拠を詳しく記載)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①オノマトペカード作成</td> <td>40,200</td> <td>印刷用紙・インク</td> </tr> <tr> <td>②使い方シート作成</td> <td>78,829</td> <td>編集・デザイン・イラスト・印刷</td> </tr> <tr> <td>③小冊子作成</td> <td>121,510</td> <td>印刷</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>240,539</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						種目	決算額	説明 (内訳・算出根拠を詳しく記載)	①オノマトペカード作成	40,200	印刷用紙・インク	②使い方シート作成	78,829	編集・デザイン・イラスト・印刷	③小冊子作成	121,510	印刷	計	240,539	
種目	決算額	説明 (内訳・算出根拠を詳しく記載)																		
①オノマトペカード作成	40,200	印刷用紙・インク																		
②使い方シート作成	78,829	編集・デザイン・イラスト・印刷																		
③小冊子作成	121,510	印刷																		
計	240,539																			
助成金を使用した成果に関する発表（インターネットに公表されている場合は URL を記載すること。）																				
発表者氏名 (著者・講演者)	発表課題名 (著書名・演題)	発表学術誌名 (著書発行所・講演学会)	学術誌発行年月 (著書発行年月・講演年月)																	